

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~3日	3月 ~10日	3月 ~17日	3月 ~24日	3月 ~31日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	13	5	15	4	1
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	16	22	29	17 (19)	18
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	0	0	0	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	5	5	2	2 (3)	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	3	1	3	2 (3)	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	2	2	2	3	1

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第13週(3月25日~3月31日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1	2			3		
三類	0	発生なし	0							
四類	1	E型肝炎	1						1	
		A型肝炎	1					1		
		レジオネラ症	1	1						
五類	8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1						
		ジアルジア症	1			1				
		侵襲性肺炎球菌感染症	1						1	
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		百日咳	1					1		
		梅毒	3					3		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり9.25人の報告がありました。減少傾向ですが、例年同時期と比較して多い状況が続いています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 RSウイルス感染症

定点当たり1.17人の報告があり、増加しています。生後6カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、注意が必要です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒、手洗いや咳エチケットの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

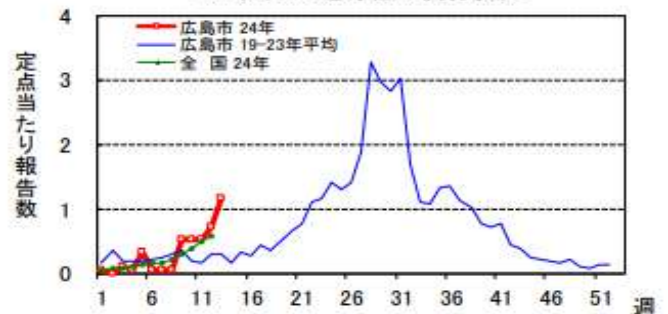
3 咽頭結膜熱

定点当たり0.87人の報告があり、前週と比べて大きく増加しました。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.86人の報告があり、減少傾向が続いています。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	333	9.25	2.46			小児科	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02		
	新型コロナウイルス(COVID-19)	67	1.86					流行性耳下腺炎	-	-	0.05		
小児科	RSウイルス感染症	27	1.17	0.28			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	咽頭結膜熱	20	0.87	0.18				流行性角結膜炎	5	0.63	0.48		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	83	3.61	1.07			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	136	5.91	3.54				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	水痘	2	0.09	0.23				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06		
	手足口病	11	0.48	0.08				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.10				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.14		
	突発性発しん	9	0.39	0.28									

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	19	30歳代・市外・推定感染地域: 国外、40歳代、70歳代
4	A型肝炎	1	1	70歳代・市外・推定感染地域: 国外
5	梅毒	3	37	20歳代・3人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	3	90歳代
5	百日咳	1	1	40歳代